

GIGAスクール構想のもとでの国語科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの国語科の指導において ICTを活用する際のポイント

国語科における「学習過程」とICTの活用場面

新学習指導要領では、国語科の指導の改善・充実を図る観点から、〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。GIGAスクール構想のもとでのICTの効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができる。

国語科の学習過程 ※必ずしも一方向、順序性のある流れではない。

考えられるICT活用場面

※以下の各場面は、あくまで本資料として便宜的に挙げたものであり、特定の学習過程と紐づくものでも、固定的に捉えるべきものでもない。

A 話すこと・聞くこと			B 書くこと	C 読むこと
<話すこと>	<聞くこと>	<話し合うこと>		
話題の設定	話題の設定	話題の設定	題材の設定	構造と内容の把握
情報の収集	情報の収集	情報の収集	情報の収集	
内容の検討	構造と内容の把握	内容の検討	内容の検討	精査・解釈
構成の検討		内容の検討	構成の検討	
考えの形成	精査・解釈	話合いの進め方の検討	考えの形成	考えの形成
表現	考えの形成	考えの形成	記述	
共有	共有	共有	推敲	共有
			共有	

情報を収集して整理する場面

自分の考えを深める場面

考えたことを表現・共有する場面

知識・技能の習得を図る場面

学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面

GIGAスクール構想のもとでの国語科の指導において ICTを活用する際のポイント

場面に応じた国語科におけるICT活用のイメージ（例）

情報を収集して整理する場面

- インターネットを活用して学習課題に関連する情報を調べ、集めた情報を内容に応じて整理する。
- 収集した情報を各自のフォルダに保存し、表計算ソフトなどを活用してデータベース化する。

自分の考えを深める場面

- 自分で考えたことを画面上の付箋に書き出し、その付箋を目的や意図に応じて分類する。
- プレゼンテーションソフト上でスライドを並べ替えるなどして、自分の伝えたいことがより明確に伝わるよう、目的や意図、相手に応じて用いる情報を取捨選択したり、話や文章の構成を考えたりする。
- デジタル教科書上で自分が重要だと考えた箇所に線を引き、友達と比較するなどして、考え直した場合に線を引き直す。

考えたことを表現・共有する場面

- カメラ付のICT端末を使って録画・保存したスピーチや話合いの動画を、各自で再生しながら話し方等を確認し、良い点や改善点についてコメントをフォルダ内の共有ファイルに書き込む。
- プレゼンテーションソフトを活用して、各自のテーマに即した発表資料をそれぞれ作成する。

知識・技能の習得を図る場面

- 古文や漢文等の教材となる動画を各自の目的に応じて選択・視聴し、言葉の響きやリズムに親しむ。
- 書写の指導において、デジタル教科書等を活用して、点画の書き方への理解を深める。

学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面

- 各自の目的に応じてモデルとなるスピーチの動画を視聴し、学習の見通しをもつ。
- 以降の学習における様々な学習活動において自分の必要に応じて適宜参照できるように、学習した内容を個人のフォルダに蓄積する。

高等学校・第2学年・国語科・古典B・紀行文を読む①

育成を目指す資質・能力（主たる指導事項）

古典B

ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

ICT活用のポイント

古典の紀行文の中の地名や場所などをICT端末を用いて調べ、イメージをもちにくい古典の世界を具体的に想像したり、最終的にまとめた意見文や感想文などについてファイル共有機能を用いて交流したりする。

【学習過程】

【ICT活用場面】

事例の概要

構造と内容の把握

精査・解釈

考えの形成

共有

情報を収集して整理する場面

自分の考えを深める場面

考えたことを表現・共有する場面

◆ 古典の紀行文を読んで、登場人物が旅した経路など、各自が関心をもった様々な情報をICT端末を用いて調べることにより、古典の世界を具体的に想像させ、古典への興味・関心を喚起する。

（主として、「精査・解釈」の学習過程）

◆ 文章の中で登場人物の言動や心情、書き手の考えなどを捉え、それに対する自分の考えを意見文や感想文などにまとめ、ファイル共有機能を用いて相互に閲覧して交流する。

（主として、「考えの形成、共有」の学習過程）

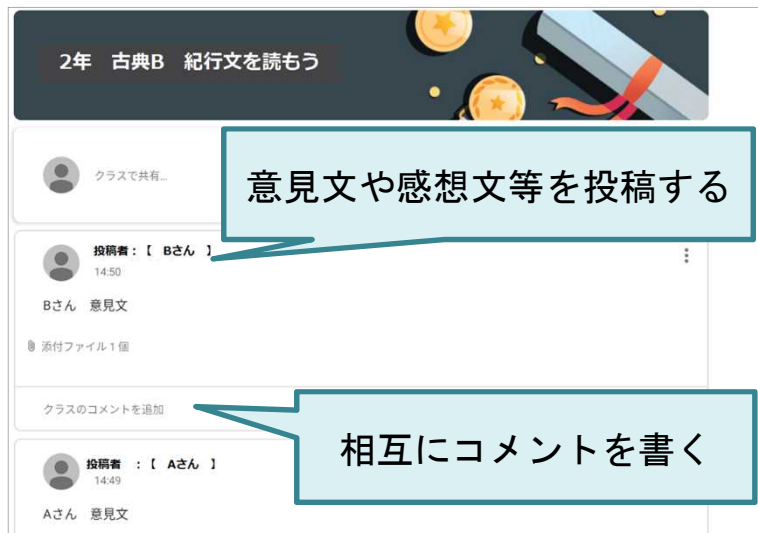
高等学校・第2学年・国語科・古典B・紀行文を読もう②

【事例におけるICT活用の場面①】



ICT端末を用いて、古典の中の登場人物が旅した経路や立ち寄った名所旧跡について調べている様子

【事例におけるICT活用の場面②】



学習支援ソフトのファイル共有機能を活用して、交流している画面(画像はイメージです)

〈ICT活用例①〉

- ・古典の紀行文を読んで関心をもったテーマを自ら設定し、ICT端末を用いて、登場人物が立ち寄った経路、場所の歴史、現在の様子など様々な情報を収集した上で、古典の世界を具体的に想像し、文章中の出来事や人物の言動の意味や心情、背景などを考察する。
(主として、「精査・解釈」の学習過程)

〈ICT活用例②〉

- ・設定したテーマに即して考察した内容に基づいて最終的にまとめた意見文や感想文などを、ファイル共有機能を用いて閲覧し、相互にコメントを書くなどして交流する。
(主として、「考えの形成、共有」の学習過程)

【活用したソフトや機能】 ウェブブラウザ、文書作成ソフト、学習支援ソフト